

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35-(13)	備蓄については種類を含めた検討の必要性をあげている。夜間帯の安全管理を含め、今後もあらゆる災害を想定した訓練や対応策について検討されることを期待したい。また、防火管理責任者への受講を促しており、今後の取組が期待される。	十分な備蓄品や緊急時用の確保と、地域との非常時の協力体制を充実していくと主に、防火管理者資格取得者を増やし、施設内での防火意識を高めていく。	安全対策委員会を中心に災害時の対応の話し合いを行う中で、備蓄品や緊急時の用具等の見直しや選定をし、その都度購入していくと共に、防火管理者を中心に、当施設での防災活動へ参加を依頼し、非常時の協力体制の充実に努めていきます。	6ヶ月
2	4-(3)	運営推進会議においては、3事業所が合同で開催されており、メンバー構成を検討される事で更に多くの意見や気づきが見出せるかと思われる。職員体制に余裕があれば、管理者以外の職員も参加することを検討いただきたい。	運営推進会議から、施設の活動を伝えていく中で、管理者からの視点だけではなく、よりご利用者様に近い職員からの声を伝え、施設運営において、より良いアドバイスが得られる様、努めていく。	施設管理者だけでなく、他の職員も会議に参加できる様、勤務体制も考慮していくと共に、職員からの相談やアイデア等が会議の中で反映され、委員の皆さんからもより良い助言が聞かれゆ様な会議になることに努めていきます。	6ヶ月
3	33-(12)	管理者は看取り支援の実施については、主治医との連携や、職員の心構えなどメンタル面への十分な配慮の必要性を認識している。長年ホームで過ごされている方もおられ、今後も職員との馴染みの関係を大切に支援の継続を期待したい。	ご本人含めご家族より、施設での看取りをご希望された場合において、施設での対応ができる様、職員教育と施設環境を整備して行う。	看取りの経験が無い職員でのメンタル面も考慮していきながら、ご本人とご家族とのこれまでの関係も大切に考え、施設での看取り対応を希望された場合、積極的に対応できる様、研修を含めた前向きな努力を行っていきます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。